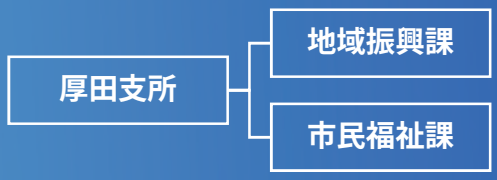
令和５年度　石狩市　組織運営方針
厚田支所



支所の役割

厚田区の目標「近説遠来」実現に向けた地域振興策、また、区民の暮らしを支える業務を行っています。

基本方針

厚田支所は地域自治区として、地域住民の意見を反映させた運営を期待されており、地域協議会での議論を中心に協働によるまちづくりを進めながら、利用者の視点に立ち、区民の暮らしを支える行政サービスの提供に努めてきました。

人口減少社会にあって当区においても合併後区内人口の約３割が減少し、２０４０年には約１,２００人と推計されるなど深刻さが浮き彫りになっています。

このような状況に加え新型コロナウイルスの終息が見通せない中、市総合計画における目標「まちの持続」を基本に、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりが求められていることから、令和５年度の基本方針として次のとおり組織目標を設定します。

- 組織目標　　「近説遠来の理念のもと持続可能なまちを実現する」
- 組織の使命
  厚田区地域協議会で決定されたテーマ「関わる」「支え合う」のキーワードをもとに、さらに地域価値を高め持続可能なまちに向けた取組を進める。
- 組織共通の価値観　「行動」と「成長」

重点事業

①関係人口創出の取組（地域振興課）

②支え合いのまちの実現（地域振興課）

③住民サービス向上の取組（市民福祉課）

各重点事業の詳細

① 関係人口創出の取組（地域振興課）

厚田区ならではの人物、食、歴史、自然などの地域資源を活かし、地域振興団体等と協働し厚田区を応援し協働の担い手となる関係人口の創出に取り組むとともに、急激に進む少子高齢化への対応策を検討します。

② 支え合いのまちの実現（地域振興課）

厚田区の目指す「近説遠来」の近説、住民の満足度を高める取組として「あつクラ（集落支援員）」を中核として住民の困りごとの把握とそれを解決する仕組みを構築し支え合いのまちづくりを目指します。

③ 住民サービス向上の取組（市民福祉課）

市民福祉課所管事務事業における住民ニーズへのきめ細やかな対応や ICT の活用などによる住民サービス向上に向けた新たな取り組みを検討します。